

次世代スーパーコンピュータ利用推進協議会の活動記録 (平成 20 年度～25 年度)

次世代スーパーコンピュータ利用推進協議会（利推協）は、産学官が一体となって次世代スパコンの利活用を推進し、財団法人計算科学振興財団の活動を支援することにより産業経済の発展に寄与することを目的として、民間企業を中心に平成 20 年 4 月に設立された。

1. 設 立

平成 20 年 4 月 21 日

2. 主な事業活動

計算科学振興財団の活動を支援することにより、次の事業活動を行った。

○「京」の産業利用の促進

技術部会による HPCI 利用に対する産業界意見の集約

HPCI コンソーシアムへの参画による HPCI の構築や運営体制への産業界意見の反映

○シミュレーション技術の普及による産業活性化

技術高度化コンサルティング、FOCUS スパコンを活用した企業の技術高度化支援、実践的な企業技術者の人材育成等

○普及・啓発活動

セミナー等の開催、展示会への出展、スパコン利用事例集の作成、高度計算科学研究支援センターでの展示コーナーの整備・運営

3. 会 費

法人会員 1 口 100,000 円/年（1 口以上）

個人会員 1 口 20,000 円/年

特別会員 会費免除

4. 会員数の推移

平成 20 年発足当時 23 法人

20 年度末 33 法人

21 年度末 34 法人

平成22年度末	45 法人
23年度末	63 法人
24年度末	73 法人
25年度末	96 法人
(その他 特別会員 6 法人)	

5. 役員構成

(平成20年4月～23年6月)

会 長：水越 浩士（㈱神戸製鋼所 会長→相談役）

副会長：佃 和夫（三菱重工業㈱ 会長）

副会長：森 詳介（関西電力㈱ 社長）

監 事：家次 恒（シスメックス㈱ 社長）

(平成23年6月～24年5月)

会 長：大橋 忠晴（川崎重工業㈱ 取締役会長）

副会長：佃 和夫（三菱重工業㈱ 会長）

副会長：森 詳介（関西電力㈱ 社長）

監 事：家次 恒（シスメックス㈱ 社長）

(平成24年5月～25年5月)

会 長：大橋 忠晴（川崎重工業㈱ 取締役会長）

副会長：佃 和夫（三菱重工業㈱ 取締役会長）

監 事：三野 哲治（住友ゴム工業㈱ 取締役会長）

(平成25年5月～26年3月)

会 長：大橋 忠晴（川崎重工業㈱ 相談役）

副会長：船戸 崇（三菱重工業㈱ 常務執行役員）

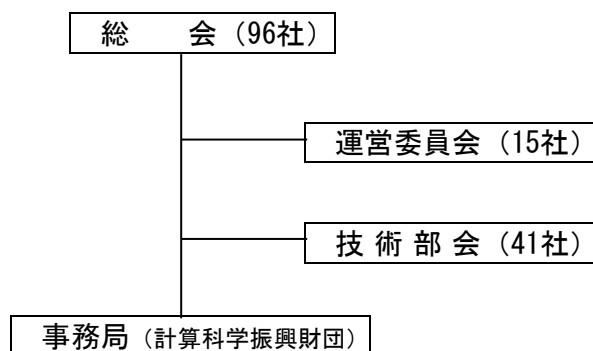
監 事：三野 哲治（住友ゴム工業㈱ 取締役会長）

6. 組 織

組織としては、重要事項を審議するために役員・全会員で構成される総会のほか、総会に付議すべき事項や総会議決事項の執行等について話し合う運営委員会、H P C I を利用しやすい仕組みにしていくための産業界の意見集約を行う技術

部会があり、事務局を計算科学振興財団が担った。

協議会の活動としては、技術部会による産業界の意見集約や、財団の活動への支援を通じた「京」の産業利用の推進などを行った。



7. 活動状況

【平成20年度】

○設立総会の開催 平成20年 4月21日 (15社出席)

(議案)

- ① 設立(設立趣意書承認)の件
- ② 次世代スーパーコンピュータ利用推進協議会規約の件
- ③ 会長の選任の件
- ④ 副会長及び監事の選任の件
- ⑤ 平成20年度事業計画書の件
- ⑥ 平成20年度収支予算書の件
- ⑦ 運営委員会の構成の件

○運営委員会の開催 平成21年 2月13日 (12社出席)

(議事)

- ① 平成20年度事業報告(案)について
- ② 平成21年度収支予算・事業計画(案)について

○スパコン利活用研究会の開催

○利推協会員の拡充(23→33法人)

○計算科学振興財団への支援 10,452千円

【平成21年度】

○総会の開催 平成21年 4月22日 (20社出席)

(議案)

- ① 平成20年度事業報告の件
- ② 平成20年度収支決算の件

③ 平成21年度事業計画の件

④ 平成21年度収支予算の件

(報告)

① 高度計算科学研究支援センター(仮称)の概要について

○運営委員会の開催

第1回 平成21年 8月31日 (10社出席)

(議事)

① 平成21年度事業計画(追加事業)について

② 最近の国の動きについて

③ 平成21年度事業計画進捗状況について

第2回 平成22年 3月23日 (9社出席)

(議事)

① 平成21年度事業報告(案)について

② 平成21年度収支決算見込みについて

③ 平成22年度事業計画(案)について

④ 平成22年度収支予算(案)について

⑤ 高度計算科学研究支援センター(仮称)について

⑥ 国の動きに伴う今後の計算科学振興財団の方向性について

○スパコン利活用研究会の開催

○利推協会員の拡充(33→34法人)

○計算科学振興財団への支援 61,093千円

【平成22年度】

○総会の開催 平成22年 5月19日 (18社出席)

(議案)

① 平成21年度事業報告の件

② 平成21年度収支決算の件

③ 平成22年度事業計画の件

④ 平成22年度収支予算の件

⑤ 会長の選任の件

⑥ 副会長及び監事の選任の件

(報告)

① 高度計算科学研究支援センター(仮称)について

② 国の動きに伴う今後の計算科学振興財団の方向性について

③ 新規法人会員の加入について

○運営委員会の開催

第1回 平成22年10月28日（10社出席）

（議事）

- ① 平成22年度事業進捗報告について
- ② 平成20年度～平成22年度の総括事業報告について
- ③ 技術部会の設置について
- ④ 中期事業計画骨子（平成23年度～平成25年度）について
- ⑤ 調査結果のまとめ（みずほ情報総研）について

第2回 平成23年 3月23日（12社出席）

（議事）

- ① 平成22年度事業報告（見込）および決算報告（見込）について
- ② 主な活動実績（平成20～22年度）報告（見込）について
- ③ 中期事業計画（平成23～25年度）案について
- ④ 平成23年度事業計画案および予算案について
- ⑤ 技術部会の開催報告について
- ⑥ 高度計算科学研究支援センターの運用開始に向けた準備状況について
- ⑦ 計算科学センタービル開所記念式典について
- ⑧ 利用推進協議会の役員に関する件について
- ⑨ 高度計算科学研究支援センター施設見学について

○技術部会の開催

第1回 平成22年11月30日（17社出席）

（議事）

- ① 革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ（HPCI）の構築に向けて
- ② 産業界のHPCI利用促進のための具体的な方策について
- ③ 計算科学振興財団の支援活動について

第2回 平成22年12月20日（16社出席）

（議事）

- ① 産業界における先端計算科学技術の利用促進のための施策検討調査について
- ② 計算科学振興財団の支援活動について
（HPCI コンソーシアムの活動状況、FOCUS スパコンの産業利用について）

○利推協会員の拡充（34→45法人）

○計算科学振興財団への支援 61,111千円

【平成23年度】

○総会の開催 平成23年 6月17日（15社出席）

（議案）

- ① 会長の選任の件

- ② 平成22年度事業報告の件
- ③ 平成22年度収支決算の件
- ④ 平成23年度事業計画の件
- ⑤ 平成23年度収支予算の件

(報告)

- ① 高度計算科学研究支援センターの利用状況等について
- ② HPCIにおける財団の活動状況について
- ③ 新規法人会員の加入について
- ④ 計算科学振興財団の中期事業計画について
- ⑤ 財団と利推協のあり方について
- ⑥ 会員企業PRのための企業ロゴマークの使用について

○運営委員会の開催

第1回 平成23年10月31日 (10社出席)

(議事)

- ① 平成23年度における活動状況について
- ② 経済界との確認事項の達成状況について
- ③ 今後の利推協のあり方について
- ④ 計算科学振興財団の平成23年度収支見込について

第2回 平成24年 2月21日 (9社出席)

(議事)

- ① 平成23年度活動実績(案)について
- ② 平成23年度収支決算(見込)について
- ③ 計算科学振興財団の平成23年度収支見込及び平成24年度収支概算について
- ④ 平成24年度活動計画(案)について
- ⑤ 平成24年度収支予算(案)について
- ⑥ 役員の改選について
- ⑦ 利推協のあり方について

○技術部会の開催

第1回 平成23年 5月 9日 (15社出席)

(議事)

- ① 「コンソーシアム本格段階移行に向けたスケジュール」について
- ② 「HPCI とその構築を主導するコンソーシアムの具体化に向けて
～中間報告案～」について

第2回 平成23年 9月 1日 (15社出席)

(議事)

- ① 「HPCI とその構築を主導するコンソーシアムの具体化に向けて

～中間報告～ | について

② 「京」の利用に係る登録機関と計算科学振興財団の連携した支援について
第3回 平成23年12月 1日（14社出席）

(議事)

① 「HPCIとその構築を主導するコンソーシアムの具体化に向けて～最終報告(案)～第3章」の概要について

○利推協の今後のあり方についての検討 平成23年 7月26日

平成23年10月20日

平成23年12月15日

○高度計算科学研究支援センター見学会 平成23年 5月31日

平成23年 7月13日

○平成23年度「入会特典」の整備

○利推協ニュースの配信

○利推協会員の拡充(45→63法人)

○計算科学振興財団への支援 49,072千円

【平成24年度】

○総会の開催 平成24年 5月17日 (20社出席)

(議案)

① 平成23年度事業報告の件

② 平成23年度収支決算の件

③ 平成24年度事業計画の件

④ 平成24年度収支予算の件

⑤ 会長の選任の件

⑥ 副会長及び監事の選任の件

(報告)

① 新規法人会員の加入について

② 財団と利推協のあり方について

③ HPCIシステム利用研究課題の公募について

○運営委員会の開催

第1回 平成24年10月31日 (11社出席)

(議事)

① 利推協平成24年度における活動状況及び産業界の「京」利用に向けた財団の活動状況について

② 中期事業計画の達成状況について

③ 計算科学振興財団の平成24年度収支見込について

④ 今後の利推協のあり方について

第2回 平成25年 3月13日 (8社出席)

(議事)

① 利推協の解散と剰余金の取扱いについて

② 平成24年度活動実績(案)について

③ 平成24年度収支決算(見込)について

④ 平成25年度活動計画(案)について

⑤ 平成25年度収支予算(案)について

○技術部会の開催

第1回 平成24年 5月21日 (11社出席)

(議事)

① 「京」を中核とするHPCIシステム利用研究課題募集について

第2回 平成24年 9月19日 (15社出席)

(議事)

① HPCI産業利用WGについて

② FOCUSスパコンを運用してみよう

○利推協の今後のあり方についての検討 平成24年10月18日

平成25年 3月 7日

○HPCIコンソーシアム等への経済界意見の提出

○平成24年度「入会特典」の整備

○利推協ニュースの配信

○利推協会員の拡充(63→73法人)

○計算科学振興財団への支援 36,100千円

【平成25年度】

○総会の開催 平成25年 5月28日 (16社出席)

(議案)

① 平成24年度事業報告の件

② 平成24年度収支決算の件

③ 平成25年度事業計画の件

④ 平成25年度収支予算の件

⑤ 次世代スーパーコンピュータ利用推進協議会の解散の件

⑥ 剰余金の処分の件

⑦ 文部科学省への意見提出の件

(報告)

① 役員(副会長)の変更について

- ② 新規法人会員の加入について
- ③ 平成25年度法人会員特典について

○運営委員会の開催

第1回 平成25年 9月20日（4社出席）

（議事）

- ① 利推協平成25年度における活動状況について
- ② 増強スパコンの調達について
- ③ ポスト「京」について
- ④ 次期「中期事業計画」（H26年度～H28年度）について
- ⑤ 財団賛助会員の募集について

第2回 平成26年 3月24日（8社出席）

（議事）

- ① 平成25年度収支決算（見込）について
- ② 利推協活動記録（案）について
- ③ 財団関係事項
 - ・次期中期事業計画について
 - ・財団賛助会員の申込状況について
 - ・賛助会員による交流会について

○技術部会の開催

第1回 平成25年 8月 6日（15社出席）

（議事）

- ① 「京」を中核とするHPCIの産業利用状況について
- ② FOCUSの中期事業計画について
- ③ FOCUSスパコンの現在の運用状況と増強計画について

第2回 平成26年 2月25日（16社出席）

（議事）

- ① FOCUSスパコン新システムの運用状況について
- ② Xeon Phi（マルチコア）の利用について
- ③ オープンソースの利用トレンド

○文部科学省への意見提出

○文科省「HPCI産業利用WG意見交換会」への参加

○「京」シンポジウムにおける大橋会長の講演

○シンポジウム等主催・後援・協賛

○平成25年度「入会特典」の整備

○利推協ニュースの配信

○利推協会員の拡充（73→96法人）

○計算科学振興財団への支援 34,100千円

8. 協議会の解散

平成 20 年 4 月に産学官が一体となって、次世代スパコンの利活用を推進し、計算科学振興財団の活動を支援することにより産業経済の発展に寄与することを目的として、設立された利推協であったが、その後利推協を取り巻く状況に大きな変化がみられた。

平成 23 年 4 月には支援センターの稼働（FOCUS スパコンの運用開始）をもって計算科学振興財団の活動は新たな段階へと移行し、経済界からの支援についても、社会貢献型から利益享受型への転換を進めることとなった。

また、平成 26 年度の財団自立化を目指し、自主財源の確保や外部資金の獲得に向け、事業活動に取り組んできた。また、国の平成 24 年度補正予算で措置された補助金を活用した新たなスーパーコンピュータの調達により、FOCUS スパコンを増強し、利用者の拡大に努めることとなった。

一方、平成 23 年度当初から利推協のあり方について、経済団体（関経連、産商）や地元行政（兵庫県、神戸市）との検討を重ねた結果、利推協運営委員会においては、平成 26 年 3 月末をもって利推協を解散し、新たに財団の賛助会を発足させることが妥当との結論に至った。

これらの経過を踏まえ、平成 25 年 5 月開催の総会において平成 25 年度末の利推協の解散が承認され、平成 26 年 3 月 31 日をもって利推協は解散した。

利推協設立から 6 年という短期間の活動ではあったが、HPCI 利用に対する産業界意見の集約や国への提言、シミュレーション技術の普及による産業活性化などの一連の活動により「利推協」の知名度がアップするとともに、「京」の産業利用の促進に一定の成果をあげることができた。

今後は、スーパーコンピュータ「京」の利活用を推進し、産業経済の発展に寄与することを目的として活動を行ってきた利推協の趣旨を引き継ぐ、計算科学振興財団の賛助会員制度への移行により、計算科学分野の振興と産業経済の発展に寄与することになる。



(総会)



(運営委員会)



(技術部会)



←(利推協会員ポスター)

(支援センター「展示コーナー」の
会員企業 PR コーナー) →



← (「京」1周年記念シンポジウム
での大橋会長による講演)

(トップセミナーでの会員企業PR) →



収支決算状況

(平成20年度～25年度)

(単位：円)

科 目		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
【収入の部】	会費	55,200,000	52,300,000	52,600,000	42,000,000	36,100,000	34,100,000
	業務受託	538,421	621,632	—	—	—	—
	講演会参加費等	—	186,000	76,718	—	—	—
	寄附金 (注1)	3,310,703	—	—	—	—	—
	その他	30,763	18,478	9,073	5,671	4,116	5,287
	収 入 計	59,079,887	53,126,110	52,685,791	42,005,671	36,104,116	34,105,287
	前期繰越金	0	47,677,057	36,166,842	26,102,855	18,290,620	18,076,451
	合 計	59,079,887	100,803,167	88,852,633	68,108,526	54,394,736	52,181,738
【支出の部】	I 計算財団への支援	10,452,424	61,092,673	61,111,000	49,072,000	36,100,000	34,100,000
	1. 産業利用推進事業	944,424	48,401,333	42,869,098	19,051,000	19,235,000	18,342,000
	2. 普及・啓発事業	2,392,000	6,809,340	10,245,593	910,000	852,000	750,000
	3. 情報収集・調査事業	321,000	321,000	—	—	—	—
	4. FOCUSスパコン 共用促進事業	—	—	—	1,098,000	1,026,000	1,318,000
	5. FOCUSスパコン運用	—	—	—	24,496,000	11,502,000	10,670,000
	6. 計算財団運営費	6,795,000	5,561,000	7,996,309	3,517,000	3,485,000	3,020,000
	II 産学官ユーザーネットワーク研究会	538,421	678,632	611,682	166,043	121,155	120,420
	III スパコン利活用研究会	278,840	2,557,936	173,660	—	—	—
	IV 事務局運営費	133,145	307,084	853,436	579,863	97,130	96,733
	支 出 計	11,402,830	64,636,325	62,749,778	49,817,906	36,318,285	34,317,153
	予備費(25年度は財団に寄附)	0	0	0	0	0	17,864,585
	合 計	11,402,830	64,636,325	62,749,778	49,817,906	36,318,285	52,181,738
	収 支 差 額 (注2)	47,677,057	36,166,842	26,102,855	18,290,620	18,076,451	0

(注1) 京阪神経済懇話会神戸ブロック会より、次世代スパコンに係る広報・展示に充当する目的での寄附金

【参考】次世代スーパーコンピュータ利用推進協議会 規約

(名称)

第1条 本会は、「次世代スーパーコンピュータ利用推進協議会」と称する。

(目的)

第2条 本会は、オールジャパンの産学官が一体となって次世代スーパーコンピュータの利活用を推進し、財団法人計算科学振興財団の活動を支援することにより、計算科学分野の振興と産業経済の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 次世代スーパーコンピュータの産業利用についての具体的な提案
- (2) 次世代スーパーコンピュータの活用に係る研究の検討
- (3) 財団法人計算科学振興財団の活動支援
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会員の種類)

第4条 本会の会員は、法人会員、団体会員、個人会員、特別会員とする。

特別会員は、大学、行政及び公的研究機関等とする。ただし、特別会員は、総会での議決権は、無いものとする。

(入会)

第5条 本会の目的に賛同し、会員になろうとするものは、所定の入会申し込み書を本会に提出する。法人会員及び団体会員は、本会に対する代表者1名（会員代表者）を届け出なければならない。

(会費)

第6条 会員は、所定の会費を支払うものとする。

- (1) 法人会員・団体会員 1口 100,000円/年（1口以上）
 - (2) 個人会員 1口 20,000円/年
 - (3) 特別会員は会費を徴しない。
- 2 年度の途中に入会した場合には、原則として1年分支払うものとする。
- 3 年度の途中に退会した会員がすでに納入した会費は、これを返還しない。

(退会)

第7条 会員が、本会を退会しようとする時は、事前に書面をもって本会に届け出なければならない。

(役員の種類及び定数)

第8条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長1名、副会長若干名
- (2) 監事2名以内

(役員の選任)

第9条 会長は、総会において会員代表者（特別会員を除く）から選任する。

- 2 副会長及び監事は、会員代表者（特別会員を除く）の中から会長が指名する。

(役員の職務)

第10条

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理

する。会長が欠員のときはその職務を代行する。

(3) 監事は、本会の会計を監査する。

(役員の任期)

第 11 条 役員の任期は、総会の日から 2 年後の総会の日までとする。ただし、増員により選任された役員の任期は、現任者の残任期間とする。

2 役員は、再任されることができる。

3 任期の途中で交代した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(総会)

第 12 条 総会は、会員をもって構成し、本会としての重要事項を審議し、議決する。

2 総会は、年 1 回開催するものとし、必要に応じ臨時総会を開催する。その招集及び総会の議事運営は、会長が行う。

3 総会の議事は、出席会員の過半数の同意でこれを決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(運営委員会)

第 13 条 本会に運営委員会を置く。

2 運営委員会は、会長、副会長及び会長が指名する会員をもって構成し、その招集及び議事運営は、会長が行う。

3 運営委員会は、次の事項を議決する。

(1) 総会に付議すべき事項

(2) 総会の議決した事項の執行に関すること

(3) その他総会の議決を要しない業務の執行に関すること

4 運営委員会は、あらかじめ通知された事項について構成員が書面、Eメール等により議決権を行使することにより開催したものとみなすことができる。

(事業年度)

第 14 条 本会の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(規約の変更)

第 15 条 本規約は、総会の議決を経て変更することができる。

(解散)

第 16 条 本会は、総会の議決を経て解散することができる。

(事務局)

第 17 条 本会の事務を処理するため、事務局を（財）計算科学振興財団に置く。

(補則)

第 18 条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

附則

1 この規約は、2008 年 4 月 21 日から施行する。

2 本会設立初年度の事業年度は、第 14 条の規定に関わらず、第 1 回総会開催日に始まり 2009 年 3 月 31 日に終わるものとする。

【参考】次世代スーパーコンピュータ利用推進協議会 法人会員（50 音順）

※平成 26 年 3 月 31 日現在 96 法人

アートコーポレーション(株)	(株)クロスアビリティ	(株)トランスウッズ
(株)RNAi	(株)計算力学研究センター	西日本電信電話(株)
アイクラフト(株)	(株)神戸製鋼所	(株)日機装技術研究所
(株)IDA J	(株)コベルコ科研	日産自動車(株)
アクセンチュア(株)	(株)小松製作所	日東電工(株) ☆
(株)アシックス	コンプレックス(株)	日本生命保険(相)
アスビオファーマ(株)	サイエンスソリューションズ(株)	(株)ノーリツ
(株)アスムス	サイバネット(株)	(株)バイオモデリングリサーチ
(株)アルゴグラフィックス	(株)CAE ソリューションズ☆	(株)爆発研究所
伊藤忠テクノソリューションズ(株)	J F Eテクノリサーチ(株)	パシフィックコンサルタンツ(株)
茨城日立情報サービス(株)☆	(株)JP ビジネスサービス	阪急電鉄(株)
イマジニアリング(株)	(株)J S O L	バンドー化学(株)
岩谷産業(株)	シスメックス(株)	ビジュアルテクノロジー(株)
インターメッシュジャパン(株)	(株)シミュラティオ	日立造船(株)
(株)ヴァイナス ☆	新日鐵住金(株) ☆	(株)フォーラムエイト ☆
(株)VDOC	水 i n g (株)	(株)フォトン
NEC ソフト(株)	(株)数値フローデザイン ☆	富士通(株)
(株)エンプラス研究所	住友ゴム工業(株) ☆	富士通テン(株)
大阪ガス(株)	住友電気工業(株) ☆	富士電機(株)
(株)大塚商会	住友ベークライト(株) ☆	フュージョンアイオー(株)
(株)大林組	セイコーインスツル(株)	(株)ブリヂストン ☆
オムロン(株)	ソニー(株)	(特活)並列生物情報処理センター(株)
海洋エネルギーエンジニアリング(株)	(株)ソフトウェアアクレイドル	みずほ情報総研(株) ☆
鹿島建設(株)	ダイキン工業(株)	(株)三井住友銀行
(株)風工学研究所	(株)大丸松坂屋百貨店	三菱重工業(株)
(株)カネカ	太陽誘電(株)	三菱電機(株) ☆
川崎重工業(株) ☆	(株)竹中工務店 ☆	(株)三菱東京UFJ 銀行
関西電力(株)	テクノグラフィー(株)	三ツ星ベルト(株) ☆
(株)京都銀行	(株)東芝	(株)明電舎
近畿日本鉄道(株)	東洋紡(株) ☆	(株)ユタカ技研
(株)きんでん	東レ(株)	(株)リコー
クボタシステム開発(株)	(株)トヨタプロダクションエンジニアリング	レンゴー(株)

☆：「京」産業利用課題採択企業

(特別会員)

神戸芸術工科大学 神戸大学大学院システム情報学研究科 (独) 産業技術総合研究所関西センター
(公財) 新産業創造研究機構 (独) 情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所 兵庫県立大学